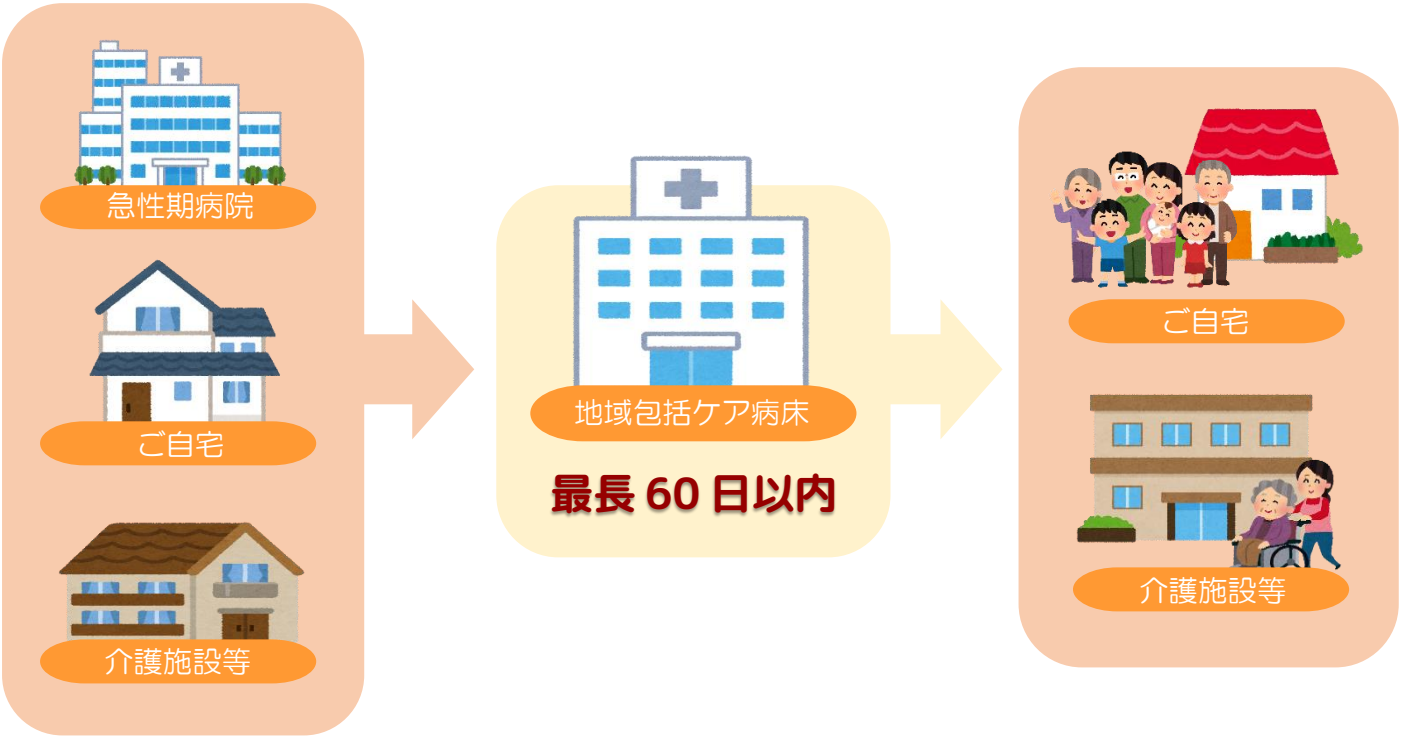
【ブログ原稿】
「6 月 1 日より、『地域包括ケア病床』オープン！」

ひかり病院では、患者様が住み慣れた地域で安心して暮らせるようご支援するため、6 月 1 日より「地域包括ケア病床」を 30 床開設いたしました。



「地域包括ケア病床」とは、急性期の治療を終えて症状が安定した患者様や、在宅療養中急に入院が必要となった患者様に対して、「在宅や介護施設への復帰」に向けた支援を行う病床です。
医師、看護師、専従リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー等が連携し、退院後の生活に向けてサポートいたします。

入院の対象となる方は下記の通りです。（一例）

・急性期の治療を終えたが、まだ療養の必要がある方
・症状は安定したが、嚥下訓練やリハビリ継続の必要な方
・肺炎や脱水などにより、点滴などの一時的な治療が必要な方 など

ご利用につきましては、
通院されているクリニックの医師、ケアプラン事業所（ケアマネジャー）、訪問看護ステーション、（ご入院中の場合）病院の地域連携室相談員を通じてお申し込みをお願いします。

今後も、スタッフ一同お一人おひとりに合わせた医療・介護の提供に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。